

溶融亜鉛シェルフ 2段 組立て式(屋外用)

型番 MJ1004

溶融亜鉛シェルフ 3段 組立て式(屋外用)

型番 MJ1005

取扱説明書

- お買い上げありがとうございました。
- この取扱説明書は、必ず保管してください。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

資料番号:CMJ1004A (第1版)
取扱説明書発行日:2015年11月1日

目次	ページ
安全上のご注意	1～2
溶融亜鉛めっき加工について	2
各部の名称/内容物	3
組み立て方法	3～4
耐荷重量について ご使用にあたり 仕様	5

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や
損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で
説明しています。（下記は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」
です。



注意

「損害を負うおそれがある内容」
です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



必ず守る

- 本体をしっかりと固定するため、「組み立て方法」に従って確実に組み立ててください。
組み立てが不十分ですと、転倒や破損、載せていたものの落下などによりけがや破損の原因になります。
- 背の高いものや重心の重いものを載せる場合は棚板の下段に置くようにしてください。
バランスが崩れ、転倒などによりけがや破損の原因になります。
- 留め具は小さな部品です。紛失しないようご注意ください。またお子様の手の届かないところに保管してください。
お子様が誤飲した場合、窒息などの危険があります。



禁止

- 棚のう上に人が乗ったり座ったり、踏み台の代わりなどにしないでください。
転倒や事故につながる恐れがあります。
- 本体に寄りかからないでください。
棚板が外れ、載せていたものが落下するなどしてけがや破損等の事故につながる恐れがあります。
- 小さなお子様が遊ぶ場所などでの設置はおやめください。棚にぶつかり、事故や大けがにつながる恐れがあります。



注意



必ず守る

- 必ず水平で堅い面のう上に設置してください。そうでない場合、転倒等の原因となります。
- 当製品は屋外で使用することを目的に作られています。必ず屋外で使用してください。
屋内で使用すると、床面や壁面をキズつける恐れがあります。
- 本体の安定性を強めるため、クロスバーの取り付けは必ず行ってください。
取り付けない場合、転倒の原因となります。
- 必ずすべての棚板を取り付けてください。
棚板を減らすことは、安定性が悪くなり転倒や破損の原因となります。
- 本体を移動させるときは、棚に置いてある植物等を全て他の場所に移してから移動させてください。
移動中に棚板が傾いたり、外れたりすると、載せていたものが落下する原因となります。
- 本体を移動させるときは、大人2人で両脇に分かれ、帆立の上部を持ってください。
棚板を持つと、棚板が外れ落下する恐れがあります。

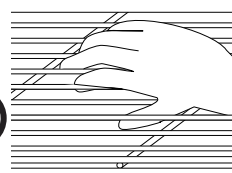


禁止

- 耐荷重量を超えるものは棚に載せないでください。棚の変形や破損の恐れがあります。
- フックなどを棚や帆立に引っ掛けて使用しないようにしてください。
バランスがくずれ、転倒の原因となります。
- 上段のみにものを置いたり、片側に偏って荷重をかけたりしないでください。
バランスがくずれ、転倒の原因となります。
- 棚に載せている植物に栄養剤・殺虫剤・消毒剤を使用する際には、
植物を棚から降ろしてから作業をしてください。耐食性を弱める恐れがあります。
- 指を入れるなど、棚の網目には手を触れないでください。
溶融亜鉛めっき加工の特性上、表面に突起があったり、棚の網目に
固まった亜鉛が付着している場合があり、けがの恐れがあります。



禁止



組み立て時の注意

以下を必ずお守りください。守らない場合、けがや転倒等の原因となります。



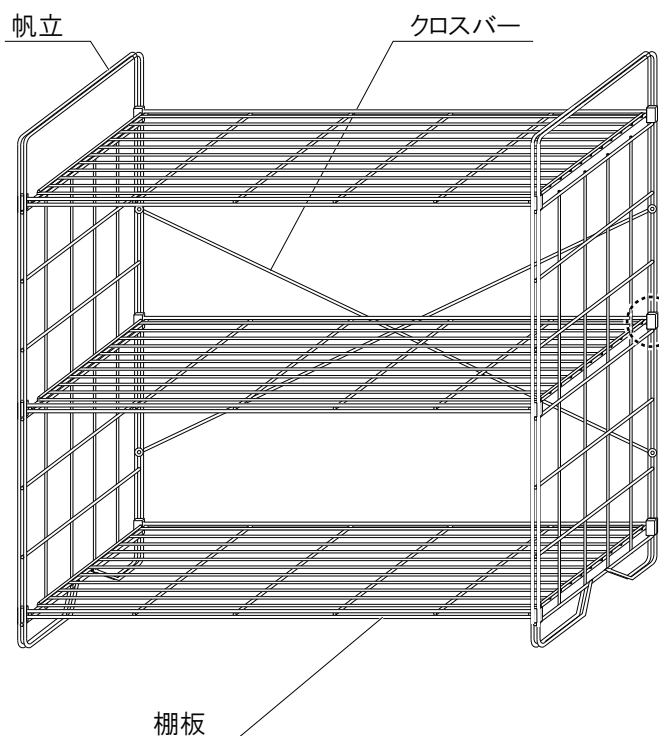
- 組み立ては必ず大人2人で行ってください。
- 屋内で組み立てる際は、床に布などを敷き、その上で組み立ててください。
- 必ず水平な場所で組み立ててください。不安定な場所での組み立ては、転倒や破損等の原因となり危険です。
- けがの恐れがありますので、軍手や手袋を着用してください。また、手や指を挟まないようご注意ください。
- 本体の安定のため、必ず最下段の棚板から設置してください。
- 棚板の位置を変更することは商品の安定性が悪くなる恐れがあるためおやめください。
また、棚板を頻繁に取り外すことは、棚板に取り付けられたジョイントパーツがすり減ったり、
帆立のワイヤー間の隙間がひろがり棚板の安定性が弱くなる恐れがありますのでおやめください。

溶融亜鉛めっき加工について

当製品は、鉄材の腐食を抑制するために溶融亜鉛めっき加工を施しております。ご使用にあたって、以下のことをご確認ください。

- 溶融亜鉛めっき加工は、鉄材の腐食を抑制するものです。腐食を完全に防止するものではありません。
ご使用環境やご使用年数により腐食が進行することがあります。
- 当製品は、鉄材のうえから溶融亜鉛めっき加工を施しております。
こすったりぶついたりすると亜鉛皮膜がはがれ、錆や劣化の原因となります。
- 使い始めの段階で、ごくまれに表面に白い粉が付着する場合があります。これは雨や湿気により亜鉛が酸化したもので、
耐食性には影響ありません。

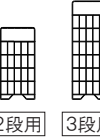
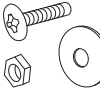
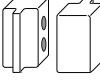
各部の名称／内容物



※図は「3段組立て式」です。

内容物

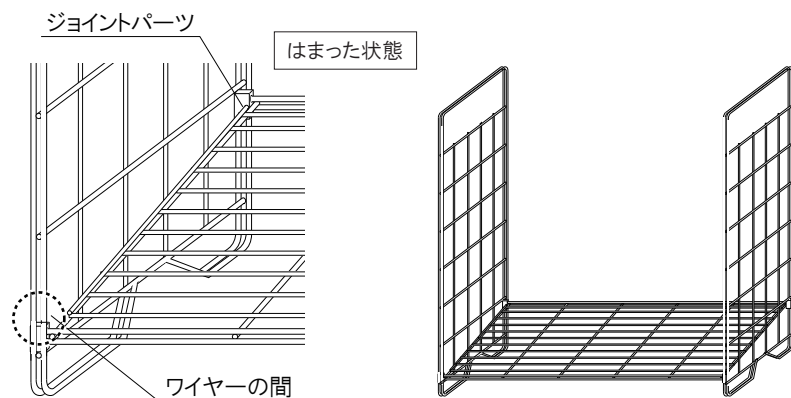
2段/3段で棚板の枚数が異なります。
内容物をご確認ください。

			2段	3段
1	棚板		2枚	3枚
2	帆立	 2段用 3段用	2枚	
3	クロスバー		2本	
4	クロスバー用 留め具		ビス/ナット/ワッシャー 各5個	
5	ジョイント パーツ (※)		8個	12個

(※)棚板に取り付けてあります。

組み立て方法

1 帆立のワイヤーの間に棚板のジョイントパーツを合わせます。

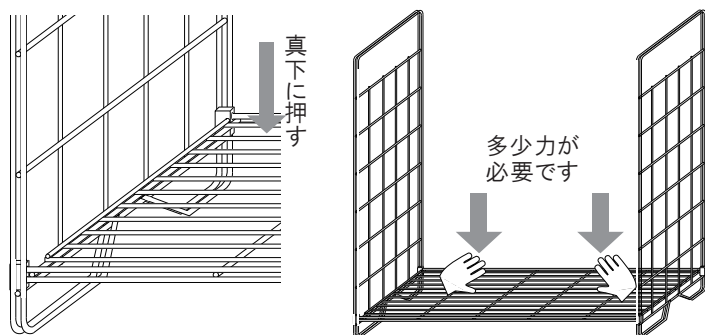


左図のように棚板を斜めにします。
帆立のワイヤーの間にジョイントパーツの突起が
しっかりはまったことを確認してください。

[2段・3段共通]
下段棚板は帆立最下段(左図参照)に
取り付けてください。

※図は「3段組立て式」です。

2 棚板を両手で真下に押しします。

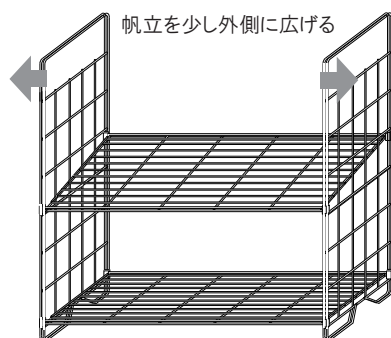


必ず両手で棚板の面を広く押さえてください。
荷重が偏ると棚板に負荷がかかり、
棚板の曲がりや破損につながります。

[2段・3段共通]
下段棚板は帆立最下段(左図参照)に
取り付けてください。

※図は「3段組立て式」です。

3 2と同様の手順で他の棚板を取り付けます。



帆立を少し外側に広げると、棚板を帆立の間にいれやすくなります。
広げすぎると棚板が外れる恐れがありますのでご注意ください。

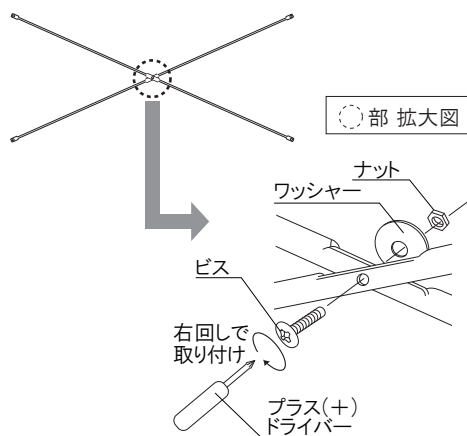
[3段]
中段棚板は帆立三段目(左図参照)に取り付けてください。

[2段・3段共通]
上段棚板は帆立最上段に取り付けてください。

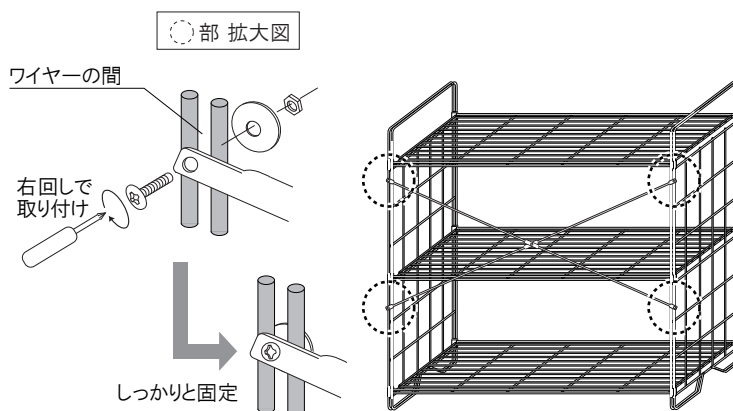
※図は「3段組立て式」です。

4 本体背面にクロスバーを取り付けます。

- ① 2本のクロスバーの中心同士を合わせ、図のように
ビスとナットを軽く留めておきます。(仮留め)
ナットを指で押さえながらドライバーを回します。

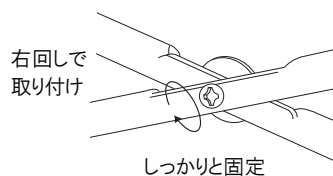


- ② 本体背面4箇所にクロスバーを取り付けます。
図のように、帆立のワイヤーの間にビスを通して、
クロスバーと帆立が固定されるまでドライバーで締め付けます。



※図は「3段組立て式」です。

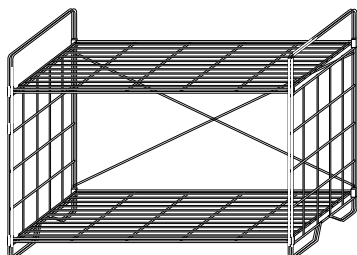
- ③ 仮留めしておいたクロスバーの中心のビスを、
しっかりと締め付けます。



耐荷重量について

2段

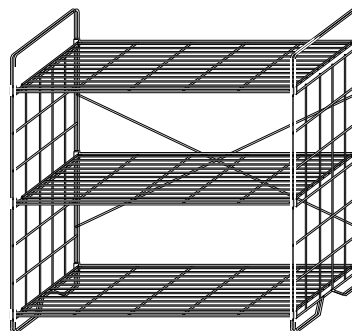
棚1枚 25kg
棚全体 30kg



※図は「2段組立て式」です。
棚板は必ず図面の高さに
取り付けてください。

3段

棚1枚 25kg
棚全体 45kg



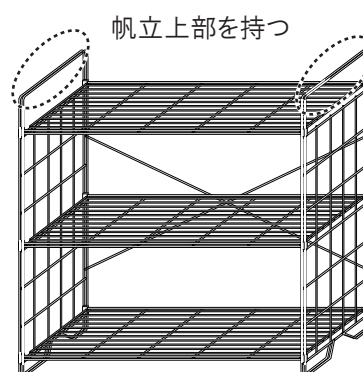
※図は「3段組立て式」です。
棚板は必ず図面の高さに
取り付けてください。

ご使用にあたり

本体の移動

必ず帆立の上部を持って移動させてください。

- 棚に置いてある植物等を全て他の場所に移してから
本体を移動させてください。
- 本体の移動は必ず大人2人で行ってください。



※図は「3段組立て式」です。

廃棄について

- 本体、包装材を廃棄する場合はお住まいの地域のルールに従って適正に廃棄してください。

仕様

サイズ	[2段] 幅84×奥行30×高さ62.5cm [3段] 幅84×奥行30×高さ85.5cm
材質	本体:スチール(溶融亜鉛めっき加工) ジョイントパーツ:ナイロン
耐荷重量	[2段] 棚1枚:25kg 棚全体:30kg [3段] 棚1枚:25kg 棚全体:45kg